

## 「第 1 回 愛知県沿岸部における津波・高潮検討会」の開催結果について

### 1. 概要

本日午後 4 時から「第 1 回 愛知県沿岸部における津波・高潮検討会（以下検討会）」が開催され、以下のとおり検討された。

### 2. 内容

#### ○検討会の設置趣旨について

検討会の設置趣旨を説明し、「設置要綱」の内容について承認された。  
（別紙「設置要綱」参照）

#### ○委員長の選任について

委員の互選により、喜岡委員(名古屋工業大学 教授)が委員長に選任された。  
（別紙「検討会構成員名簿」参照）

#### ○高潮対策の主な課題について

高潮対策の主な課題について、事務局から説明を行った。

- ・愛知県はその地形特性から高潮による影響が大きい。
- ・今後、地球温暖化による海面上昇や台風の大規模化が懸念される。
- ・東日本大震災を契機に国から示された津波対策における「防護レベル」「減災レベル」と同様な外力レベルで、高潮についても検討が必要である。

「防護レベル」：発生頻度は高く、津波高は低いものの大きな被害をもたらす津波

「減災レベル」：発生頻度は極めて低いものの、甚大な被害をもたらす最大クラスの津波

（内閣府中央防災会議「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」より）

#### ○今後の進め方について

検討会の今後の進め方について、事務局から平成 23～24 年にかけて行なう旨の説明を行い、了承された。

（別紙「津波・高潮検討会の進め方」参照）

### 3. 主な意見

委員からの主な意見は、以下のとおり。

- ・外力レベルの適切な設定が重要な課題である。
- ・ハザードマップの作成にあたっては、条件設定に留意するとともに、表現方法についても、避難時間を考慮するなどの配慮が必要である。
- ・地震・津波・高潮の複合災害など、総合的に検討すべきである。
- ・この検討会の成果をどのように利用していくかが大きな課題である。